合格体験記（一般入学試験）　現代社会 学部 社会システム 学科 専攻

出身高校名 京都府立久御山 高校

（1）同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は地域の活性化に興味をもっていたので、公共政策と観光学が学べる同志社女子大学に魅かれました。校舎が綺麗で家から近く、なおかつ、国語と歴史が苦手な私にとって、得意な数学と現代社会で受験できる点も他大学にはない魅力でした。

（2）一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

英語…通学時間が長かったので、その時間を利用して単語を覚えていました。
長文と文法の基礎的な問題集をくり返し解いていました。
数学…短期攻略センター数学Ⅰ・A（駿台文庫）の基礎編をくり返し解いていました。
現代社会…私は3年までほぼ勉強していなかったので予備校の授業で勉強を始めました。

〔夏休み〕

毎日朝10時から夜8時まで予備校で勉強していました。
英語…予備校の長文対策の授業を毎日受講し、ネクステは「文法」、「語法」、「リスニング」を1日で出来る量に区切って毎日するようにしていました。
数学…1学期に使用していた基礎編に加えて実戦編もくり返し解いていました。
現代社会…予備校の授業を全て受講し、一通りは頭に入れていました。

〔2学期～入試直前〕

英語、数学…今まで使ってきた「ネクステ」と「短期攻略センター数学Ⅰ・A」に加えて過去問を解いていました。
現代社会…東進ブックスの一問一答をくり返して、苦手な分野をなくしていました。これに加えて、過去問にも取り組んで間違えた問題はネットで調べて覚えるようにしていました。
過去問の使い方…私は常に緊張感をもって解くことを意識していました。試験本番は時間に余裕をもって解けるように時間は50分に設定していました。過去問を解く度に目標点（『入試ガイド』の合格者平均点参考）を設定し、自分の正答率を比較して目標点を上回った時は自信になりました。

（3）この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

受験直前は心も体もしんどくなって、学校を休む日が多くなり、学校に行っても保健室で先生に話を聞いてもらって心を落ち着かせてもらいました。体を壊さないために担任の先生に勧められた栄養ドリンクを飲んでいました。また、同じように受験を控えている友だちと話して、「しんどいのは自分だけじゃない！みんなも頑張っているんだ!!」とやる気につなげていました。
私がスランプに陥った時は「自分なら同志社に受かる！」と思って勉強し続けました。
また気分転換に勉強場所を変えてみたりしたのも少しは効果があったように思います。

（4）受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は志望する高校に行けなくて、悔しい思いをしました。この悔しさは大学受験で晴らしてやる！という思いで高1から"同志合格"に向けて勉強し、合格したときはとてもうれしかったです。
12月頃から「受からなかったらどうしよう」かと不安になることもあると思いますが、今まで自分は何のために努力し続けてきたのだろうと振り返り、目標を再度思いだして頑張ってください！